

「第82期 定時株主総会」資料

いちよし証券株式会社
2024年6月22日(土)

第一部：決算の状況

(2024年3月期連結決算)

1. 収支の状況

- ◆ 営業収益は、前期比13.0%増(21億7,000万円増加)の188億3,700万円
- ◆ 経常利益は、前期比136.4%増(16億5,900万円増加)の28億7,500万円
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比154.5%増(11億7,100万円増加)の19億2,900万円

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
営 業 収 益	16,666	18,837	13.0%	2,170
純 営 業 収 益	16,625	18,798	13.1%	2,173
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	15,459	15,995	3.5%	536
営 業 利 益	1,166	2,803	140.4%	1,637
経 常 利 益	1,216	2,875	136.4%	1,659
特 別 損 益	0	42	—	41
法 人 税 等	458	987	115.6%	529
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	758	1,929	154.5%	1,171

(単位：百万円)

2024/3			
1Q	2Q	3Q	4Q
4,580	4,587	4,336	5,332
4,569	4,578	4,330	5,319
3,946	3,976	3,972	4,099
622	601	358	1,220
642	592	393	1,246
47	0	20	▲25
211	216	154	405
478	376	259	815

◆受入手数料は、委託手数料及びその他の受入手数料(信託報酬等)の増加等により前期比13.3%増(21億5,300万円増加)の183億7,200万円

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受 入 手 数 料	16,219	18,372	13.3%	2,153
ト レ ー デ ィ ン グ 損 益	71	91	27.8%	19
そ の 他 の 営 業 収 支	207	214	3.3%	6
金 融 収 支	127	120	▲5.6%	▲7
合 計	16,625	18,798	13.1%	2,173

(単位：百万円)

2024/3			
1Q	2Q	3Q	4Q
4,471	4,455	4,239	5,206
20	33	2	34
44	58	56	55
33	31	32	23
4,569	4,578	4,330	5,319

3. 受入手数料の内訳

- ◆株券の委託手数料は、前期比19.4%増(8億6,800万円増加)の53億3,600万円
- ◆投資信託の募集・売出し手数料は、前期比3.0%減(7,800万円減少)の25億6,300万円
- ◆その他の受入手数料(信託報酬等)は、前期比18.2%増(15億1,000万円増加)の97億8,600万円

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受 入 手 数 料	16,219	18,372	13.3%	2,153
委託手数料の主な内訳				
株 券	4,468	5,336	19.4%	868
募集・売出し手数料の主な内訳				
投 資 信 託	2,642	2,563	▲3.0%	▲78
その他の受入手数料の主な内訳				
信 託 報 酬 等	8,275	9,786	18.2%	1,510
信 託 報 酬 等 以 外	515	579	12.5%	64
計	8,791	10,365	17.9%	1,574

(単位：百万円)

2024/3			
1Q	2Q	3Q	4Q
4,471	4,455	4,239	5,206
1,383	1,247	1,170	1,535
686	685	594	597
2,222	2,363	2,332	2,866
142	139	110	186
2,365	2,503	2,443	3,053

<参考>

(単位：億円)

投 信 募 集 額	1,672	1,848	10.5%	175
-----------	-------	-------	-------	-----

※ ラップ販売額を含む。

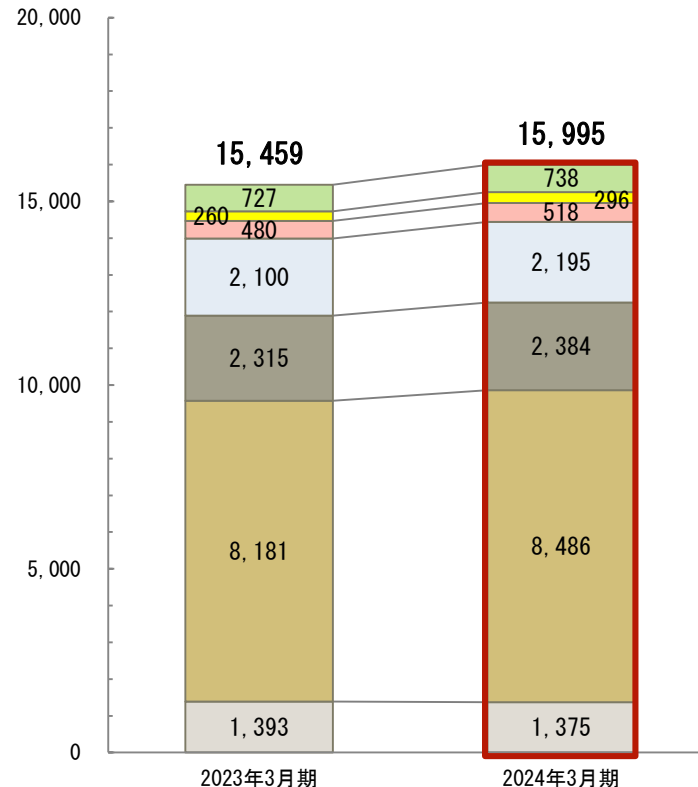
4. 販売費・一般管理費の内訳

◆販売費・一般管理費は、人件費の増加等により前期比3.5%増(5億3,600万円増加)の159億9,500万円

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
取引関係費	1,393	1,375	▲1.3%	▲17
人件費	8,181	8,486	3.7%	305
不動産関係費	2,315	2,384	2.9%	68
事務費	2,100	2,195	4.5%	94
減価償却費	480	518	8.1%	38
租税公課	260	296	13.9%	36
貸倒引当金繰入	0	0	▲58.5%	▲0
その他	727	738	1.5%	10
合計	15,459	15,995	3.5%	536

(百万円)



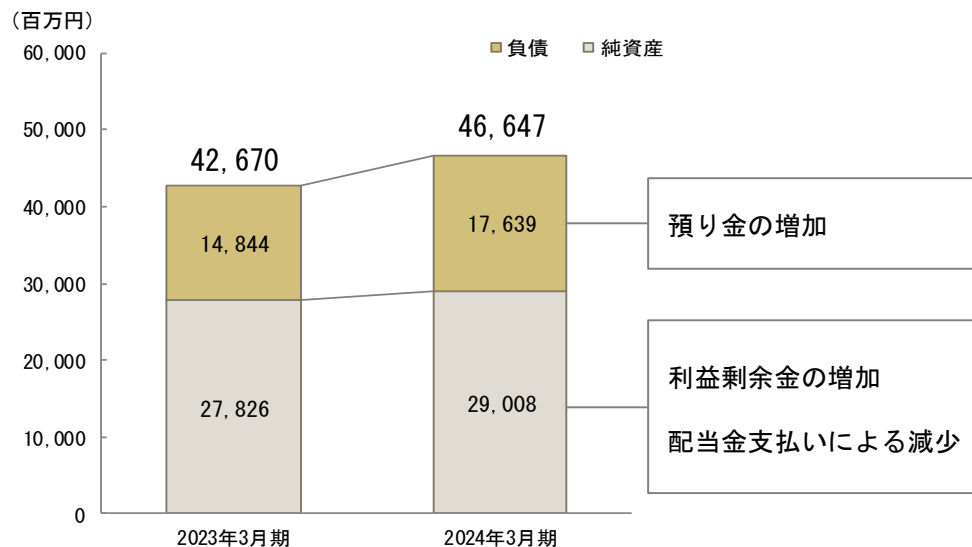
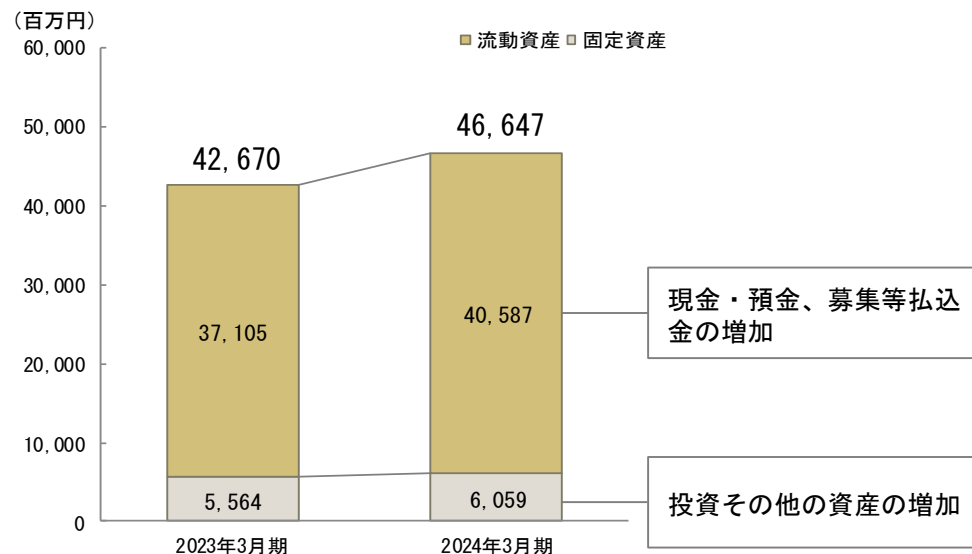
<参考>2024年3月期 固定費・変動費 (単体)

固定費	11,634
変動費	3,358

(単位：百万円)

5. 貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表



財務の状況

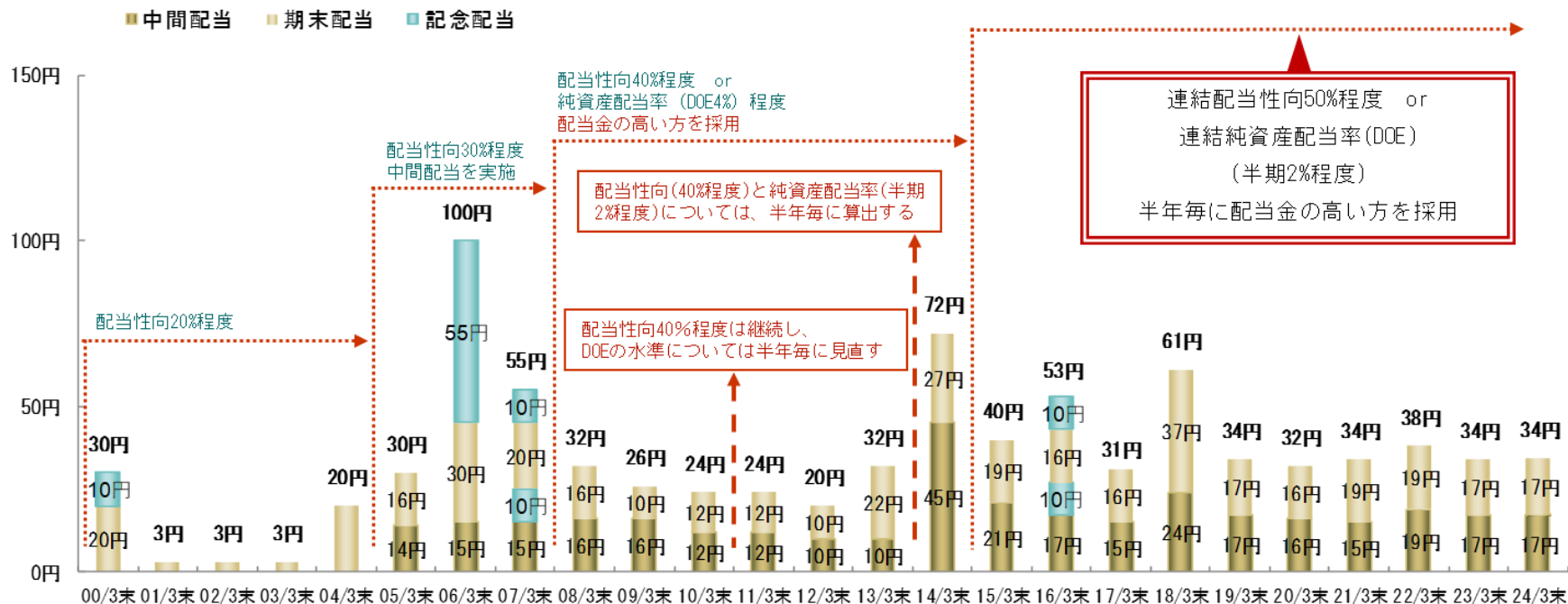
	2024年 3月期	前期末比 増減
自己資本比率 (%)	62.1	▲3.1
1株当たり純資産 (円)	856.59	32.81
自己資本規制比率 (単体) (%)	518.0	12.2

	2024年 3月期	前期比 増減
1株当たり当期純利益 (円)	57.11	35.18
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	6.8	4.2

- 当社は、株主還元を経営上の重要課題と捉えています。業績連動型の配当方針を基本とし、配当性向をベースとした配当を行っていますが、株主の皆様への適切な利益還元を継続して充実させていくことを目的として、純資産配当率（DOE）についても勘案して配当額を決定しています。

配当の状況

配当額・配当性向等の推移（1株当たり）



	自己株式の消却	平均単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000株	265 円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200株	1,032 円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500株	673 円	4.2%
2019年6月	2,000,000株	871 円	4.5%
2022年5月	2,000,000株	645 円	4.7%
2023年8月	2,500,000株	644 円	6.2%

合計 21,997,700株

合計 43.3% (単純合計値)

(参考)
2019年3月末発行済株式総数
44,431,386株

↓ 約15%消却

2023年9月末発行済株式総数
37,931,386株

第二部：いちよしの20数年来の取組み

2024年 1月18日プレスリリース

当社は、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、2023年12月21日更新の「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」において開示いたしました。本年1月15日に東京証券取引所より開示企業一覧表の公表がなされましたので、当社の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、改めて下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、かねてより、株主を始めとするあらゆるステークホルダーの期待に応えるため、中長期的な企業価値の向上を計り持続的な成長の実現を目指し、P/L（損益計算書）の売上や利益水準を意識するのみでなく、B/S（バランスシート）をベースとする資本コストや資本収益性を十分に意識した経営に取り組んで参りました。

B/Sをベースとした企業価値の指標の一つであるPBR（株価純資産倍率）は、ROE（自己資本利益率）とPER（株価収益率）の積で求められますが、当社は、ROEの向上、特に自己資本比率を高い水準で維持した上での資本収益性の向上が、PBRの改善のためにも最も重要であると考えております。

具体的には、当社の経営目標であるお客様本位の「ストック型ビジネスモデル」の確立を目指す中で、中長期的に継続して資本コストを上回る資本収益性を達成し持続的成長を実現するために、安定収益の源泉となる投資信託やラップを中心とした預り資産の拡大を計っております。

また、預り資産の増加と営業収益の増加は相関関係にあることが検証されていることから、この預り資産の拡大こそが営業収益を増加させ、なかでも信託報酬やラップフィー等のいわゆる安定収益の増加がコストカバー率（安定収益の販売費・一般管理費に対する比率）を高め、ROEの上昇に繋がりPBRの向上に資すると考えております。

よって、「預り資産残高」とストック型ビジネスモデル確立の進捗状況を計る指標としての「コストカバー率」を経営の最重要指標としており、中期経営計画におきましても「預り資産」「コストカバー率」「ROE」を目標値として掲げております。

中期経営計画「3・D」におきましては、「預り資産3兆円」、「コストカバー率70%」、「ROE10%」を目標値とし、目標達成時のPBRは、およそ1.2倍（2023年3月末0.7倍）になると推計しております。

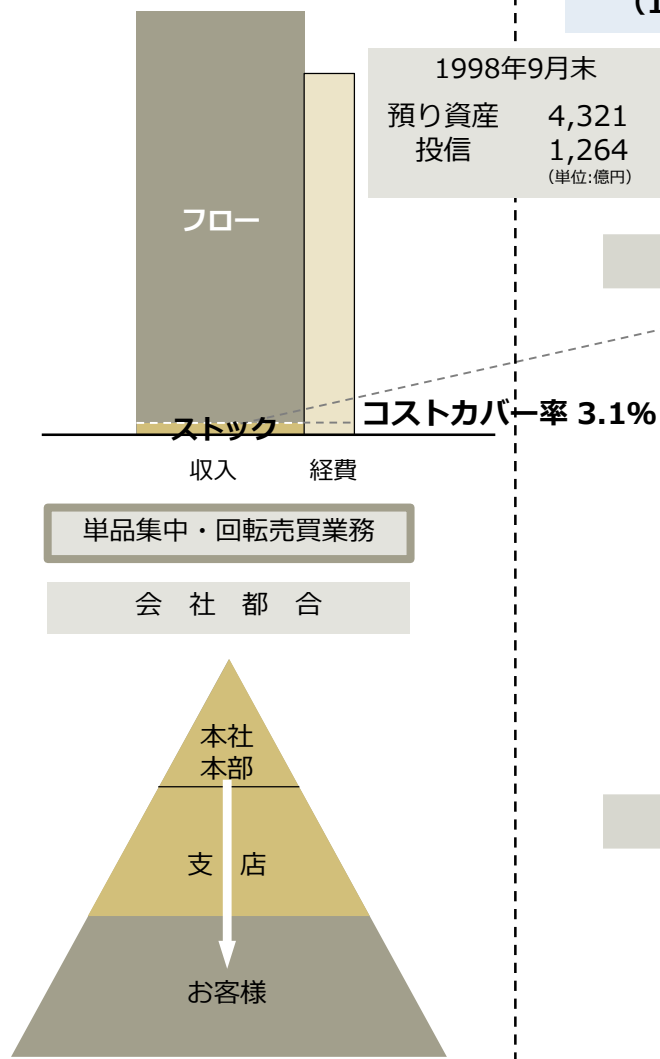
2. 日本版ビッグバンに備えての「改革の断行」

「フロー」のビジネスモデルから「ストック」のビジネスモデルへの転換

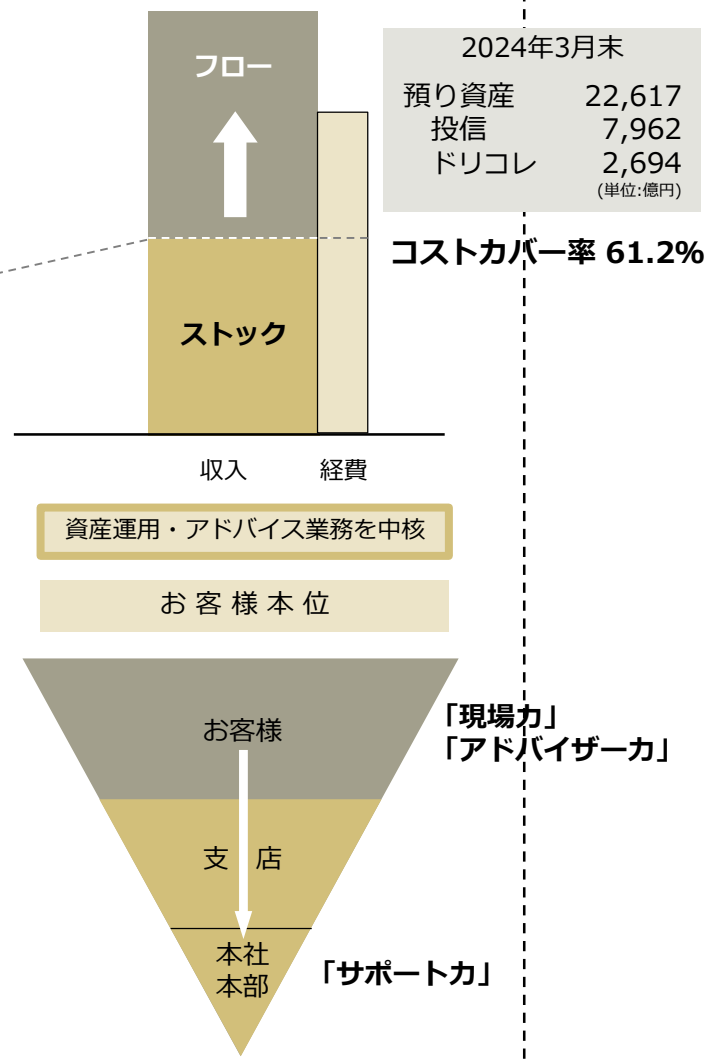
第1回「改革の断行」（1998年）

第2回「改革の断行」（2019年～）

フロー型ビジネスモデル



ストック型ビジネスモデル

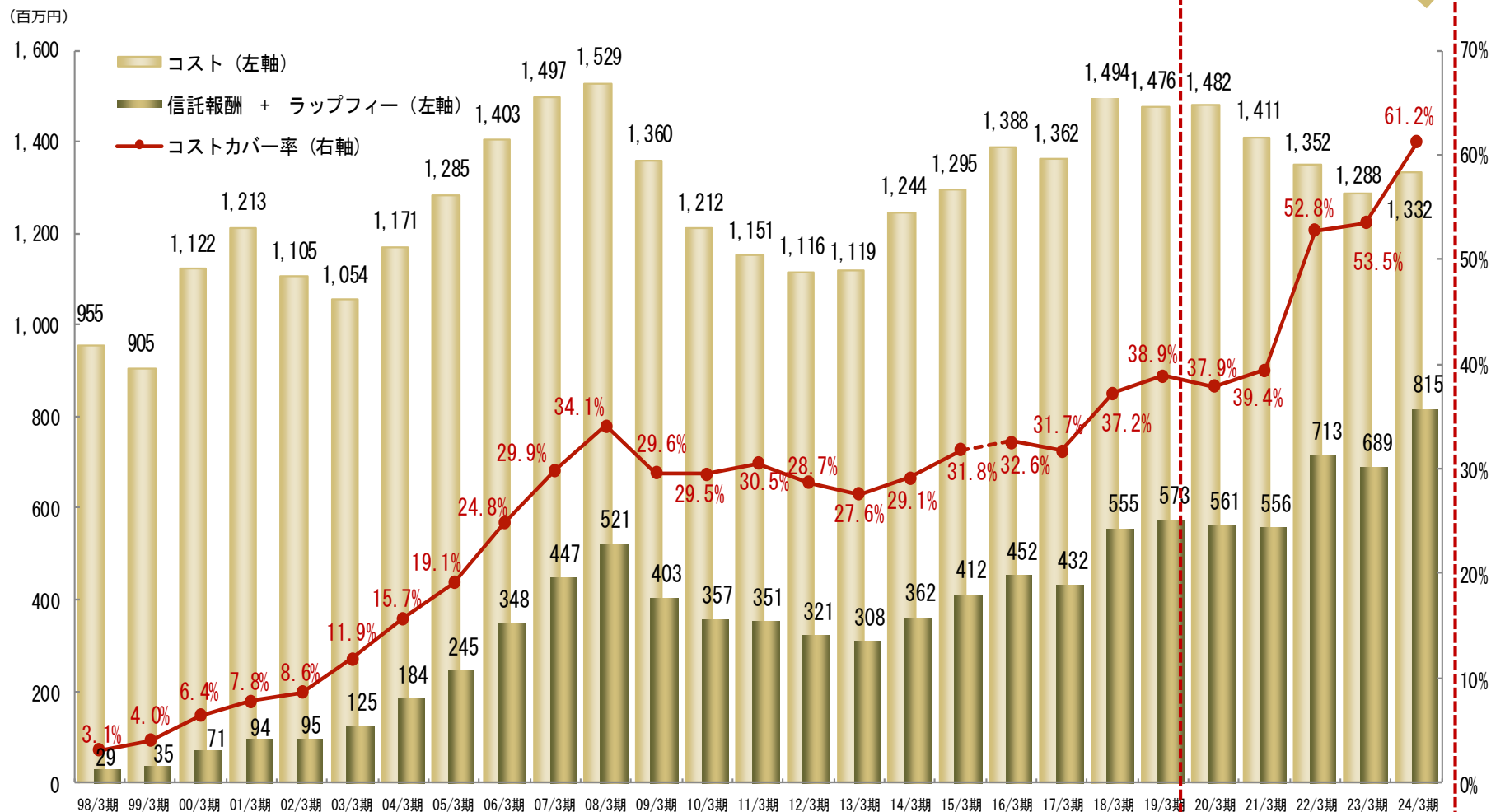


3. 信託報酬とコストカバー率の推移(月額平均)

ICHIYOSHI
SECURITIES

コストカバー率 = 「ストック型ビジネスモデル」 への転換進捗状況を示す経営指標

$$\text{※ コストカバー率} = \frac{\text{信託報酬} + \text{ラップフィー}}{\text{コスト (販売費・一般管理費)}} \times 100 \quad (\%)$$



(注) 2015年3月期以降は連結ベース、それ以前は単体ベース

4. 預り資産の推移

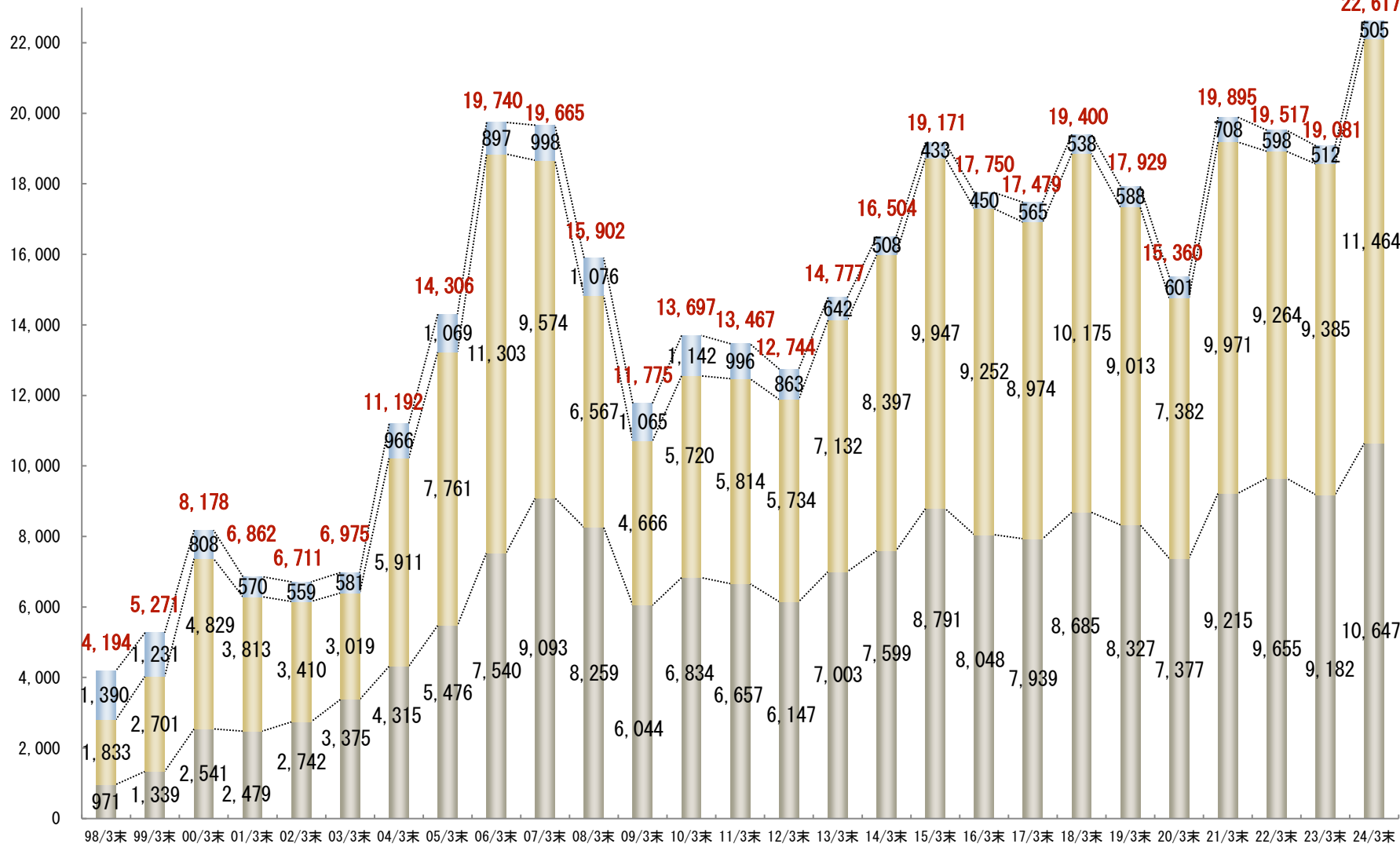
ICHIYOSHI
SECURITIES

預り資産 = 「お客様からの信頼」のバロメーター、持続的成長のための基礎体力

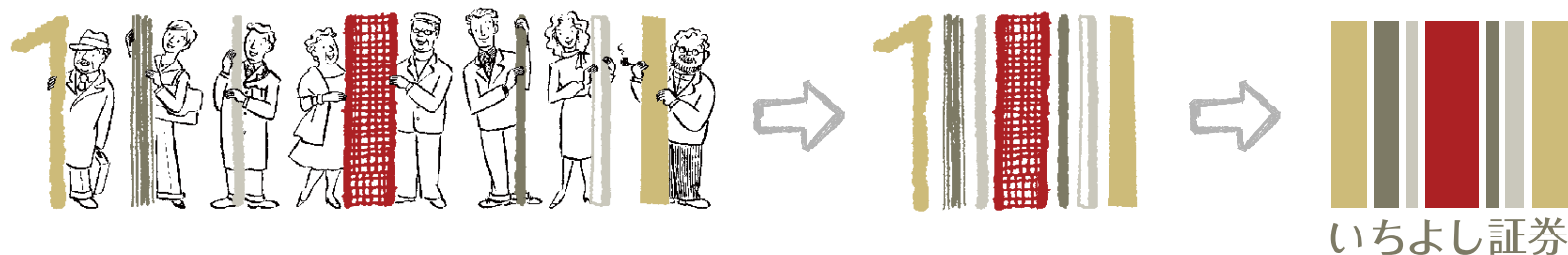
26/3期末
3兆円

(億円)

■ 投信 ■ 株式 ■ その他



一人、一人の、『いちばん』でありたい。



いちよし証券株式会社 広報室

TEL:03-4346-4512 FAX:03-4346-4513

<https://www.ichiyoshi.co.jp>

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2024年3月31日現在のデータに基づき作成しております（百万円未満切捨て表示）。

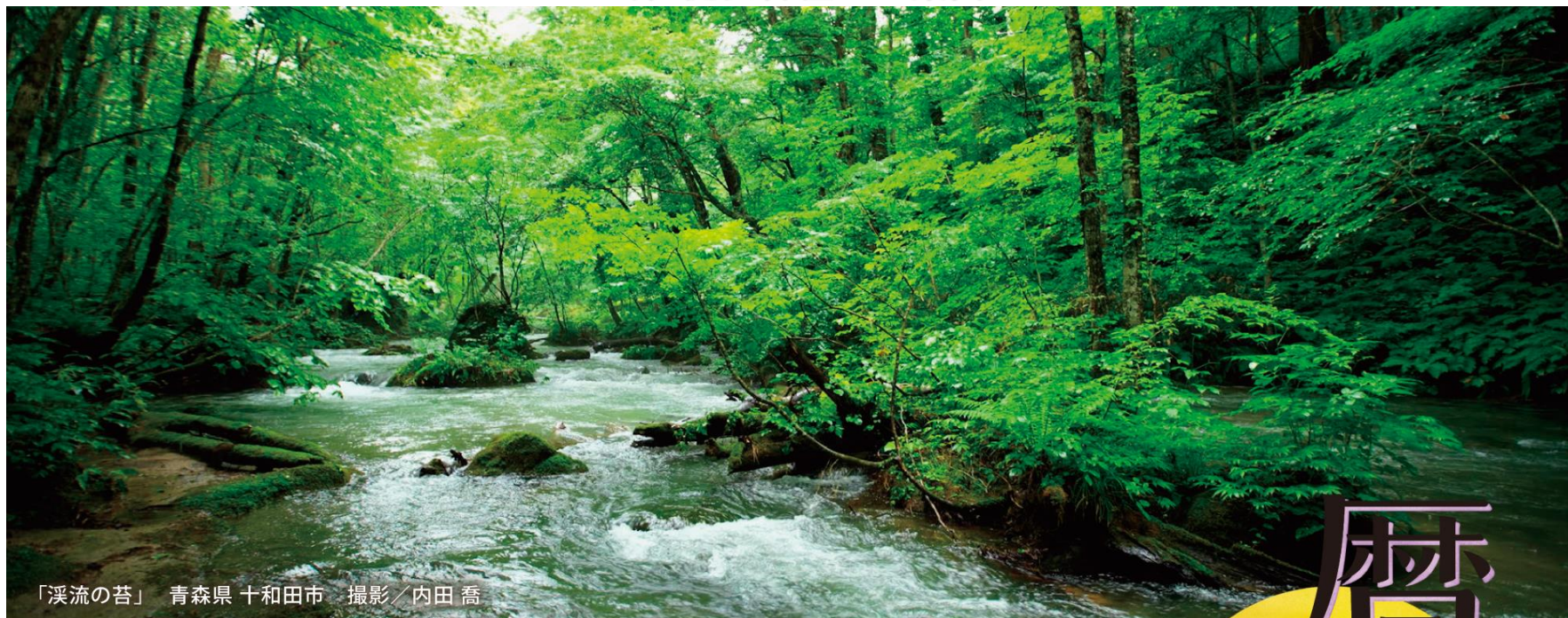
商号等：いちよし証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第24号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

2024年6月作成

当社提供番組のご案内



「溪流の苔」 青森県 十和田市 撮影／内田 喬

日本には四季がある、折々の出会いもある。

日本各地の祭りや行事に集まる人々、四季の花々、季節の生き物たちなど、心温まる季節感を全国各地に追って紹介します。

味わいのある集いをお楽しみ下さい。

 **BS朝日** 毎週日曜よる8時54分～

※放送時間は変更になる場合があります

語り／三田寛子 企画協力／CFA 制作／BS朝日 



本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

 **いちよし証券**

商号等／いちよし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 2024年6月作成